

第3回例会
一般質問から



市民クラブ
窪之内美知代
議員

江部乙駅の案内標識設置を

質問 江部乙まちづくり研究会での意見交換会で、国道12号に江部乙駅の案内標識がないのは問題との指摘があった。市が責任を持って設置のための対応を。

答弁 江部乙まちづくり研究会では、地域振興のため、江部乙駅のイベント活用などを企画されており、その実現に向けJR北海道に相談されていると聞いています。市として地域の皆さんと情報交換させていただくとともに、関係機関と相談していきます。

滝川市立病院の防犯対策

質問 滝川市立病院の診察室での医師・看護師の配置及び事件・事故発生時の対応マニュアルの有無や防犯ベル・防犯カメラの設置などの総合的な防犯対策について伺

う。

答弁 防犯対策として制服着用 of 警備員を24時間体制で配置し、病棟・外来の巡回や不審者への警備業務に当たっています。また、「院内暴力対策指針」や「院内暴力等対応マニュアル」を策定し、対策を図っています。診察室では医師と看護師の複数で対応していることから、防犯ベル・防犯カメラは設置していません。今後とも安全で安心して医療を受けられるよう取り組んでいきます。

住宅住み替え支援事業の状況と推進について

質問 今年度から始まった住宅住み替え支援事業への相談と住み替え件数、推進対策を伺う。

答弁 中空住み替え支援協議会で受け付けた相談件数は20件、サービス付き高齢者向け住宅への住み替えは15件、子育て世代の住み替え支援のための登録は1件ですが未成立。売買物件4件のうち1件が成立しました。今後も登録物件確保のため、滝川地方宅建協会等と協力して空家住宅の掘り起こしを行います。



市民クラブ
大谷久美子
議員

高齢者のタクシー代助成について

質問 第5期高齢者保健福祉計画の中で、リフト付きタクシーの利用助成が介護度3まで拡大したことは評価するが、介護度1や2でも、病院に行く機会の多い高齢者にとって、交通費の負担は大きい。施設入所の場合の助成費が居宅介護と比較して大変大きいことを考え、タクシー代の助成を検討すべきと思うがどうか。

答弁 対象を介護度3まで拡大し、リフト付きタクシー代の助成を基本料金から乗車運賃までとしました。改善の成果や結果を踏まえて第6期の計画に向けて必要に応じて対処していきます。

学校給食について

質問 食物アレルギーの児童・生徒が増加しているようだが、人数や発生の状況、児童・生徒に対する対応や教職員に対する研修、ク

ラスの子ども達への指導などどのようなになっているのか。また、親子給食となった場合、どのように対応していくのか。

答弁 食物アレルギーの児童・生徒数は、平成23年度166名、平成24年度195名、平成25年度216名と増加傾向にあります。昨年、問題が1件発生しましたが、保護者に連絡し医療機関を受診した結果、大事には至りませんでした。毎年4月に健康調査や保護者からの報告により状況を把握し、給食献立表にアレルギー食材を表示し、対象者にそれらが入った給食を食べないように指導しています。現在、対応食の提供は行っていないので、弁当持参者が小学校で3名、中学校で2名います。教職員に対しては、校内研修を実施し、命に関わる危機管理意識を強く持つて対応するよう共通理解を図り、クラスの子ども達にも指導を行っています。平成27年度からスタートする親子給食では、4か所で調理し、それぞれの学校に配食します。専門の調理員を配置し適切な対応を行います。弁当を持参する場合も考えられます。